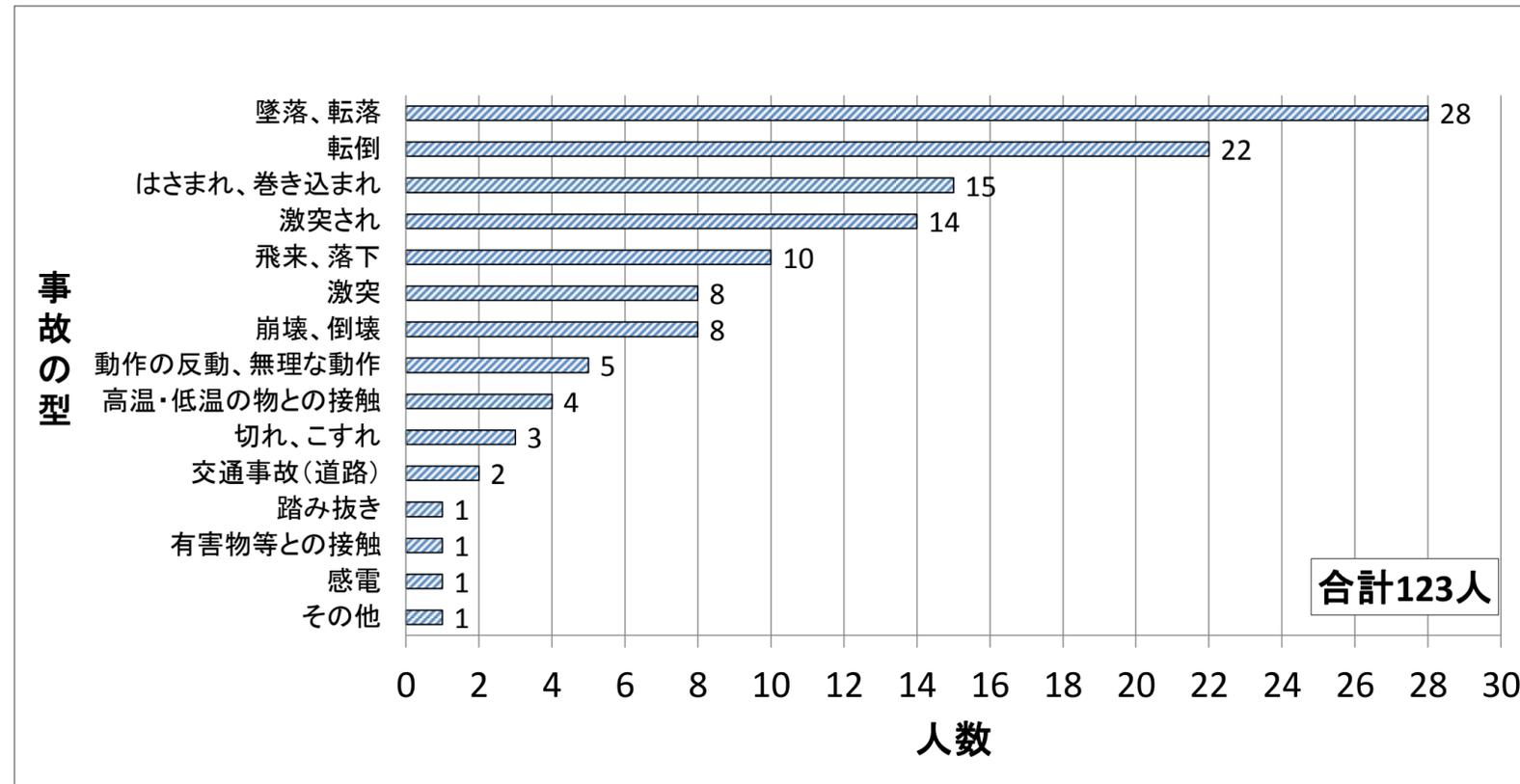


土木工事業の労働災害の発生状況(26年1月～12月)

1. 災害の原因別

平成27年3月末現在(確定値)



- ①墜落、転落災害では、トラックからの墜落が9件、建築物・構築物等からの墜落(うち雪・凍結によるものが1件)が7件、移動式クレーン等建設機械からの墜落が5件、はしご等、法面(うち雪・凍結によるものが1件)からの墜落がそれぞれ2件ずつ、足場、足場板、土のうからの墜落がそれぞれ1件ずつ発生しています。
- ②転倒災害では、通路、作業床等で転倒したものが16件(うち雪・凍結によるものが6件、資材等に躓いたものが4件、ほか)、建設機械の転倒によるものが5件、トラック荷台上での転倒が1件発生しています。
- ③はさまれ、巻き込まれ災害では、建設機械によるものが9件(うち動いたドラグショベル等機械によるものが4件、移動式クレーン等でつり上げ作業中が3件、ドラグショベルのアタッチメント交換中が2件)、そのほかトラック、木材、石材等によるものが6件発生しています。
- ④激突され災害では、建設機械によるものが11件(うち移動式クレーン5件、ドラグショベル3件、ほか)、手工具によるものが2件、立木によるものが1件発生しています。
- ⑤飛来、落下災害では、積み重ねていた鉄骨が落下し、足甲部に当たったもの、サンダーで鉄筋を切断中に鉄筋の破片が目に入ったもの等が発生しています。
- ⑥崩壊、倒壊災害では、掘削中に土砂が崩壊したもの、フォークリフトが作業台上の軽量鋼矢板に接触し倒壊したもの、ドラグショベルで支えていた鉄板が倒壊したもの等が発生しています。
- ⑦激突災害では、トラック荷台からの飛び降りによるもの等が発生しています。
- ⑧動作の反動、無理な動作による災害では、ダンプ等車両への乗り降り時に足を捻ったものなどが発生しています。
- ⑨高温・低温の物との接触災害では、暑熱な場所で熱中症を発症したものが3件発生したほか、流動化処理土に接触したことによるものが1件発生しています。
- ⑩切れ、こすれ災害では、丸のこ、チェーンソーによるものが1件ずつと資材によるものが1件、有害物との接触災害では、生コンにより化学熱傷を負ったものが1件、踏み抜き災害では、廃材中の針金により足裏を負傷したものが1件、感電災害では、倒木の伐採作業中に高圧配電線と接触したものが1件発生しています。

2. 土木工事業の災害事例(同種災害が多く発生している事例等を例示)

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	その他の動力運搬機	下水道工事の立坑内から推進機械を撤去する作業の事前作業をしていたところ、地上から約7m下の立坑内に墜落した。
墜落、転落	トラック	舗装作業中、ダンプ荷台上で合材をおろしていたところ、運転手がダンプを急発進したため荷台上から墜落した。
墜落、転落	足場	足場上で型枠支保工解体作業中、型枠支保工と足場間の隙間から約6.5m下の地盤に墜落した。
転倒	その他の環境等	田圃の暗渠排水工事で、配水管を運搬していたところ、深さ5cmほどのくぼ地に足をとられ転倒、左足首を骨折した。
転倒	その他の動力運搬機	ドラグショベルで重量物を運搬中、バランスを崩しドラグショベルが転倒、オペレーターが機外に転落し左肩を打撲した。
はさまれ、巻き込まれ	掘削用機械	ドラグショベルのアタッチメントを交換しているときに、アームの接続部分とアタッチメントの間に左手をはさみ負傷した。
はさまれ、巻き込まれ	掘削用機械	移動式クレーン仕様のドラグショベルで簡易土止材をダンプに積む作業中、ワイヤーの1本が簡易土止材に引っかかり、傾いた簡易土止材とダンプの荷台の間に左手が挟まれ負傷した。
激突され	掘削用機械	河川ブロック積み工事において、ドラグショベルでコンクリート打設作業時、合図者が締め固め作業のため離れたにもかかわらず作業を続け、ドラグショベルのバケットが手元をしていた被災者の足に当たった。
崩壊、倒壊	地山、岩石	下水道工事において、掘削(深さ1.3m)中、土砂が崩れ、右足を骨折した。
崩壊、倒壊	移動式クレーン	ラフタークレーンでユニック車の荷台上に積み込んでいた鋼材が、荷台上で荷崩れし、荷台上にいた被災者は避けようとしたが地面に転落し、そこに鋼材が落下した。
飛来、落下	荷姿の物	スラブ上で片付け作業中、砂が漏れたことでバランスを崩し、落下してきた二つの大型土のう袋にはさまれ、足を骨折した。
激突	トラック	ダンプを空荷で運転していたところ、道路の舗装のくぼみ(深さ約20cm)でバウンドし、運転手の身体が浮き上がり、着席した際に、頸部を骨折した。
動作の反動、無理な動作	通路	トラックの荷台に資材を積み終え、乗車しようとしたところ、縁石につまずき、左足首をひねり負傷した。